

宿驛

建置沿革

橋村 二里八町一十八間 宇土郡松合村西 三里一十五町一十間至西崎一里三 郡浦村三

十二度三十七分、二里二十七町一十九間半 波多村岩ノ脇 三里二十町七間半 網田村戶

口浦三十二度四十分、四里一十町二十六間 飽田郡南走瀉村沿綠川至川尻町二 三里一十

三町二十二間半 方近村白川口至小島町二 一十七町三間 松尾村沿川至高橋町一 二里

二十八町二十八間半 河内村船津、三十二度五十分、四里一十一町七間半 玉名郡濱村沿川

瀨町一里 三里三十五町三十間 長洲村、三十二度五十五分半、一里三十二町九間 大島村

三十町二十五間半至國界八町 筑後國三池郡大牟田村諏訪川口

〔延喜式兵部二十八〕諸國驛傳馬略中 肥後國驛馬大水、江田、坂本、三重、蛟高、高原、蠶養、球磨、長崎、傳馬、片野、朽網、佐色、水俣、驛各五疋、

〔日本國郡沿革考西海道〕肥後武備志作非谷、宋史作肥后、延曆十四年九月、以肥後國爲大國管十四郡千

百十六村貞觀十一年七月、肥後大風

天草八十八村、見國造記、古天 蘆北三十村、古葦分國、見國造記、敏達紀 球磨七十二村、延喜式等

此、八代六十九村、圖景行紀八代縣 益城二百八十七村 宇土四十九村、景行紀 飽田九十四

詫摩二十九村、延喜式等作詫麻 合志六十村、持統 山本三十三村、貞觀元 玉名百十村、景行紀

山鹿四十四村 菊池六十七村 阿蘇八十四村、古阿蘇國、見景行紀

〔肥後地志略〕肥後大意

抑肥の後州はもと肥前の國と一國なり、略日本後紀に曰、延曆十四年十月乙卯肥後國を以て

爲大國、宋志には火兒と記し武備志には非谷と書たり、往古は阿蘇の國、葦北の國、天草の國は火

國と別國にて、各國造を置ると舊事記に見えたり、國造とは國の司といふ、後に阿蘇の國、蘆北の

國、天草の國を、火の國に合せて一國とし、郡の名となせりとなん、後に火の字を肥にあらたむ、